

第90回がん対策推進協議会

資料5

令和6年8月5日

都道府県がん対策推進計画の策定状況について

令和6年8月5日 第90回がん対策推進協議会

厚生労働省 健康・生活衛生局
がん・疾病対策課

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

都道府県がん対策推進計画の策定状況

- 第4期がん対策推進基本計画（以下「基本計画」という。）が令和5年3月に閣議決定され、その後、各都道府県において、都道府県がん対策推進計画（以下「都道府県計画」という。）が策定されたところ。
- 第4期基本計画において、「国は、都道府県計画の作成手法等について必要な助言を行う。」としており、都道府県説明会を開催する等、都道府県に対し必要な情報提供を行ってきた。
- 今回は現時点での各都道府県の策定状況についてお示しする。

【調査概要】

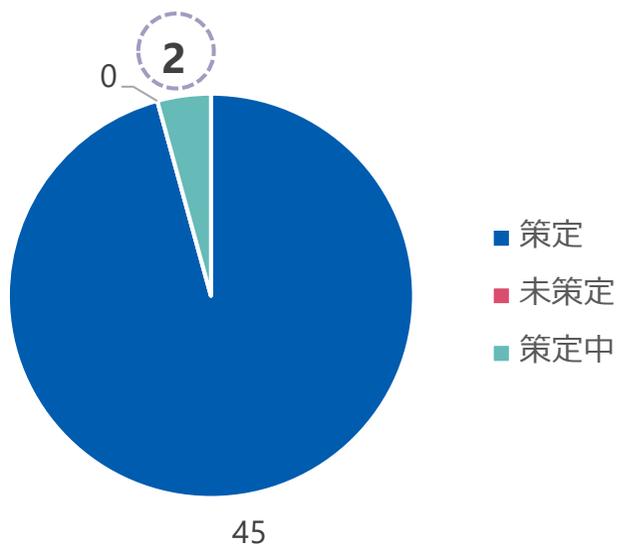
調査時期：令和6年7月

調査方法：事務局において各都道府県のHPで公表されている都道府県計画を確認し、計画の基本的事項に加え、評価体制、基本計画との対応等について整理、集計した。集計結果については都道府県に確認を依頼した。

都道府県計画の策定状況

ほぼ全ての都道府県で都道府県計画を策定しており、一部の県においては医療計画等と一体的に策定された。

都道府県計画の策定



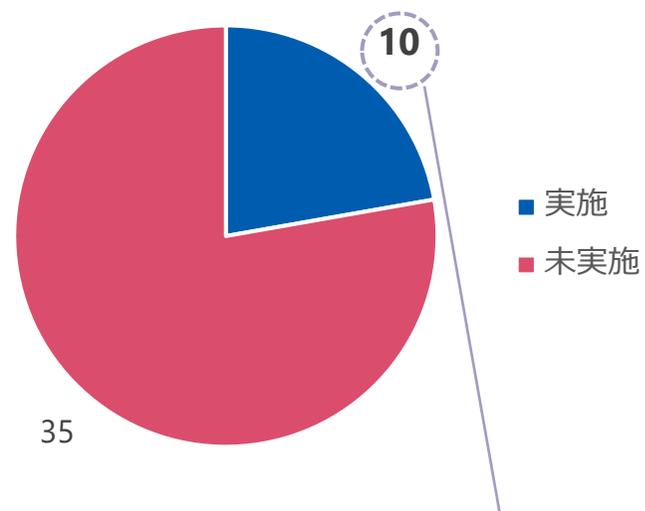
新潟県

健康づくり4計画の1つとして令和3～6年度までの4か年の計画が進行中であり、現在、次期計画の策定作業中であり、今年度中に公表予定。

石川県

がん対策推進計画（案）についてパブリックコメントが終了し、公表に向けて準備中。

医療計画等との一体的な策定



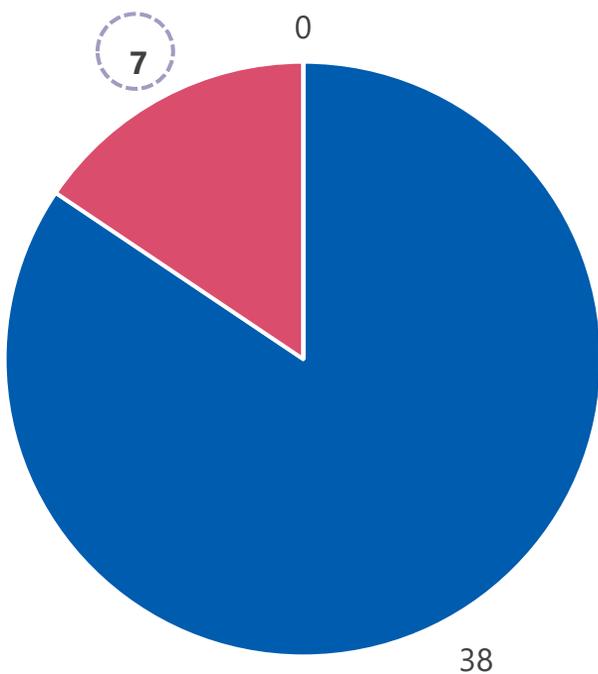
山形県、埼玉県、福井県、長野県、三重県、兵庫県、鳥取県、広島県、山口県、愛媛県

※未実施の都道府県についても、医療計画等との調和が保たれたものとなっている。

ロジックモデルの活用状況・目標値の設定

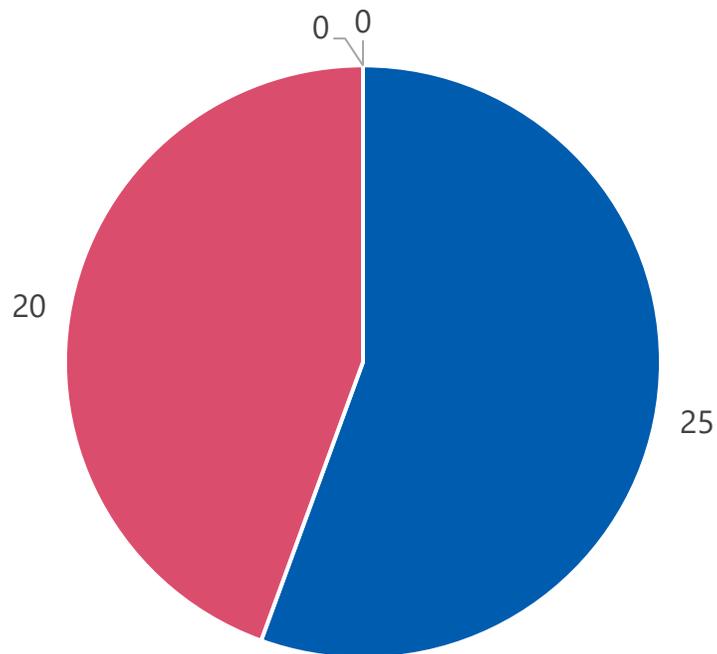
多くの都道府県でロジックモデルを活用しており、目標値も設定している。

ロジックモデルの活用



■ あり ■ なし ■ 検討中

目標値の設定



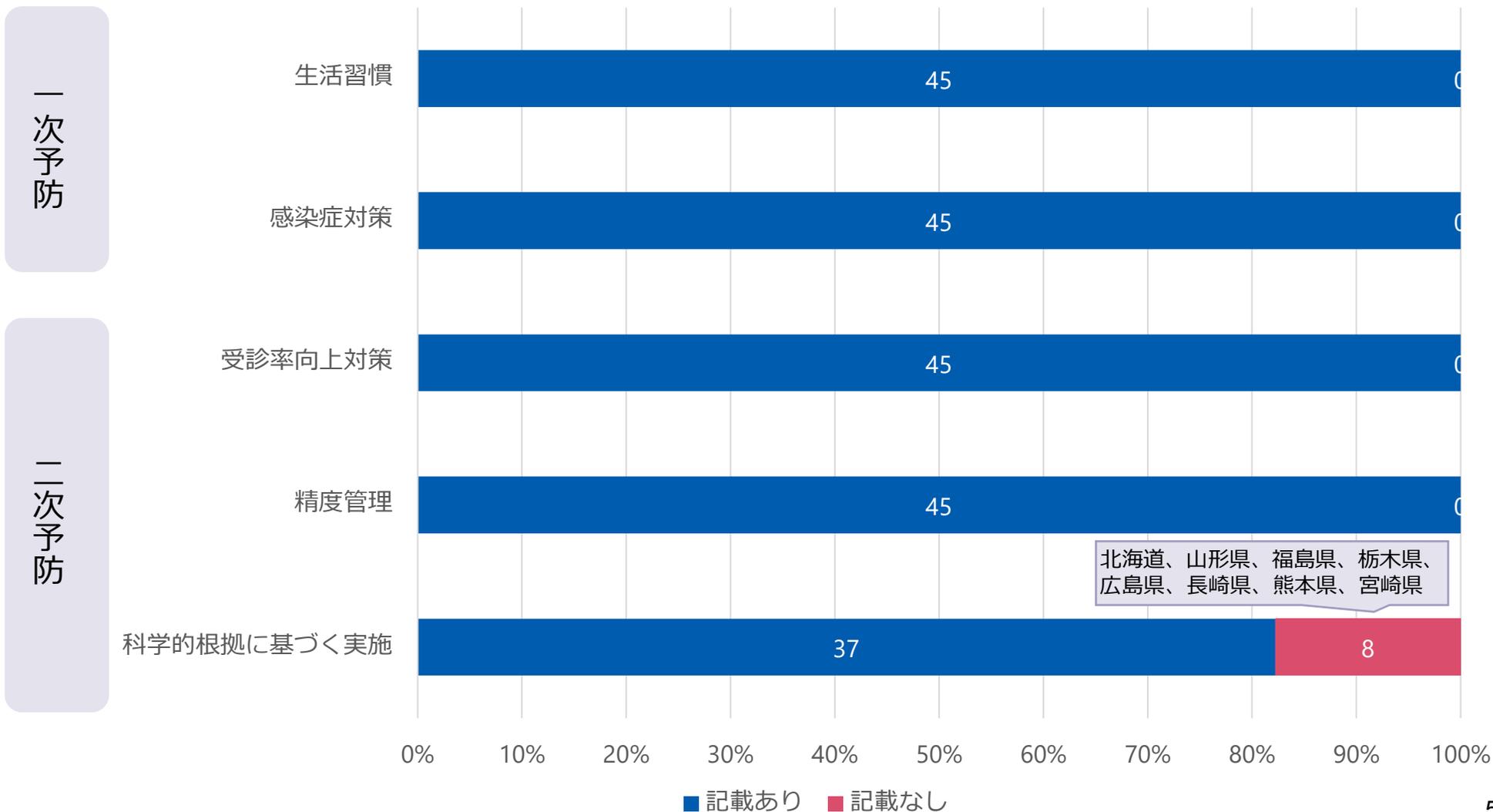
■ 全分野で設定 ■ 一部の分野で設定 ■ 未設定 ■ 検討中

ロジックモデルを活用していない都道府県

北海道、岩手県、秋田県、福井県、愛知県、大阪府、熊本県

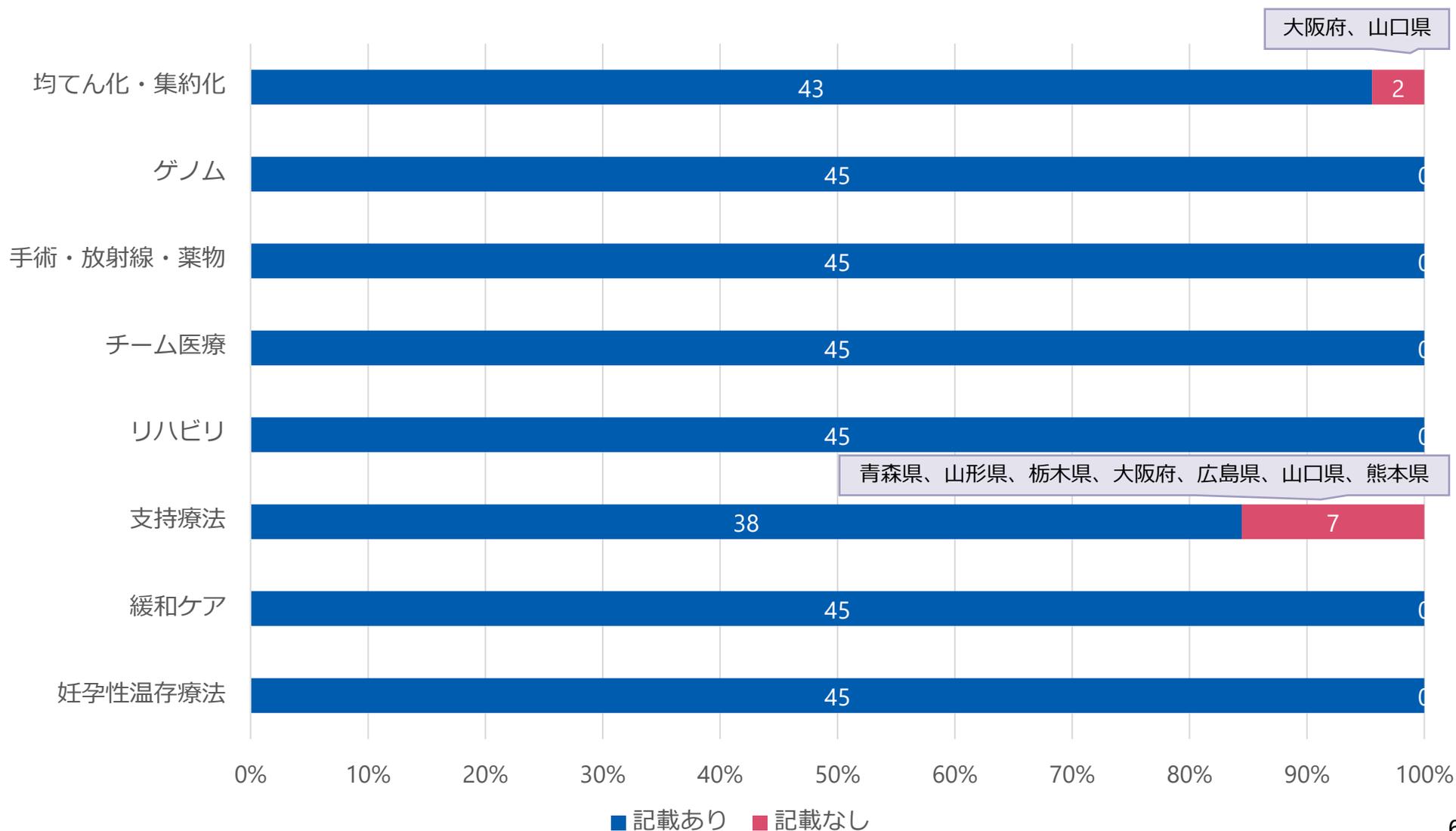
科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

概ね記載されているが、「科学的根拠に基づく実施」について記載がない自治体もある。



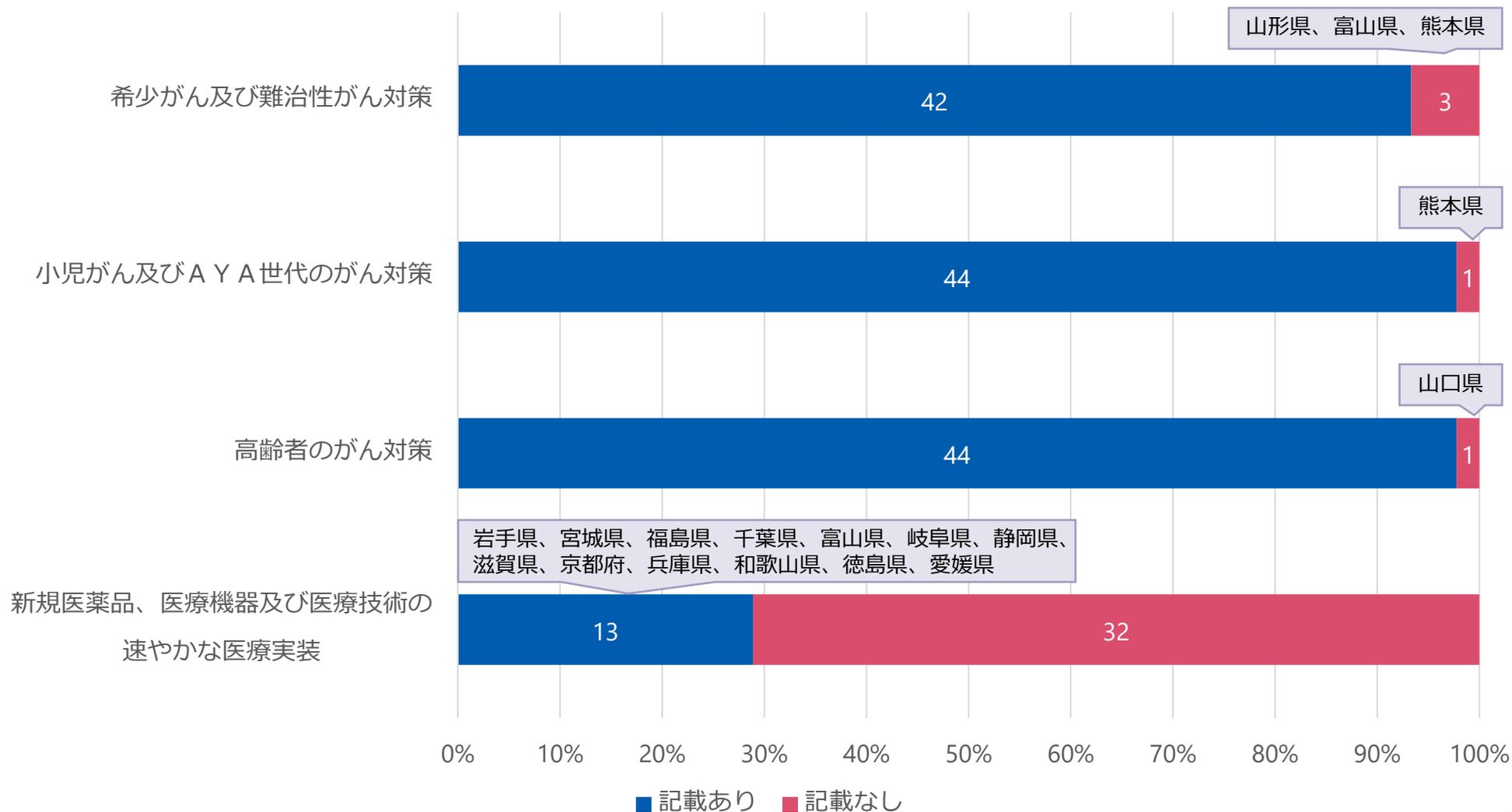
患者本位で持続可能ながん医療の提供① がん医療提供体制等

一部の自治体において、記載のない項目がある。



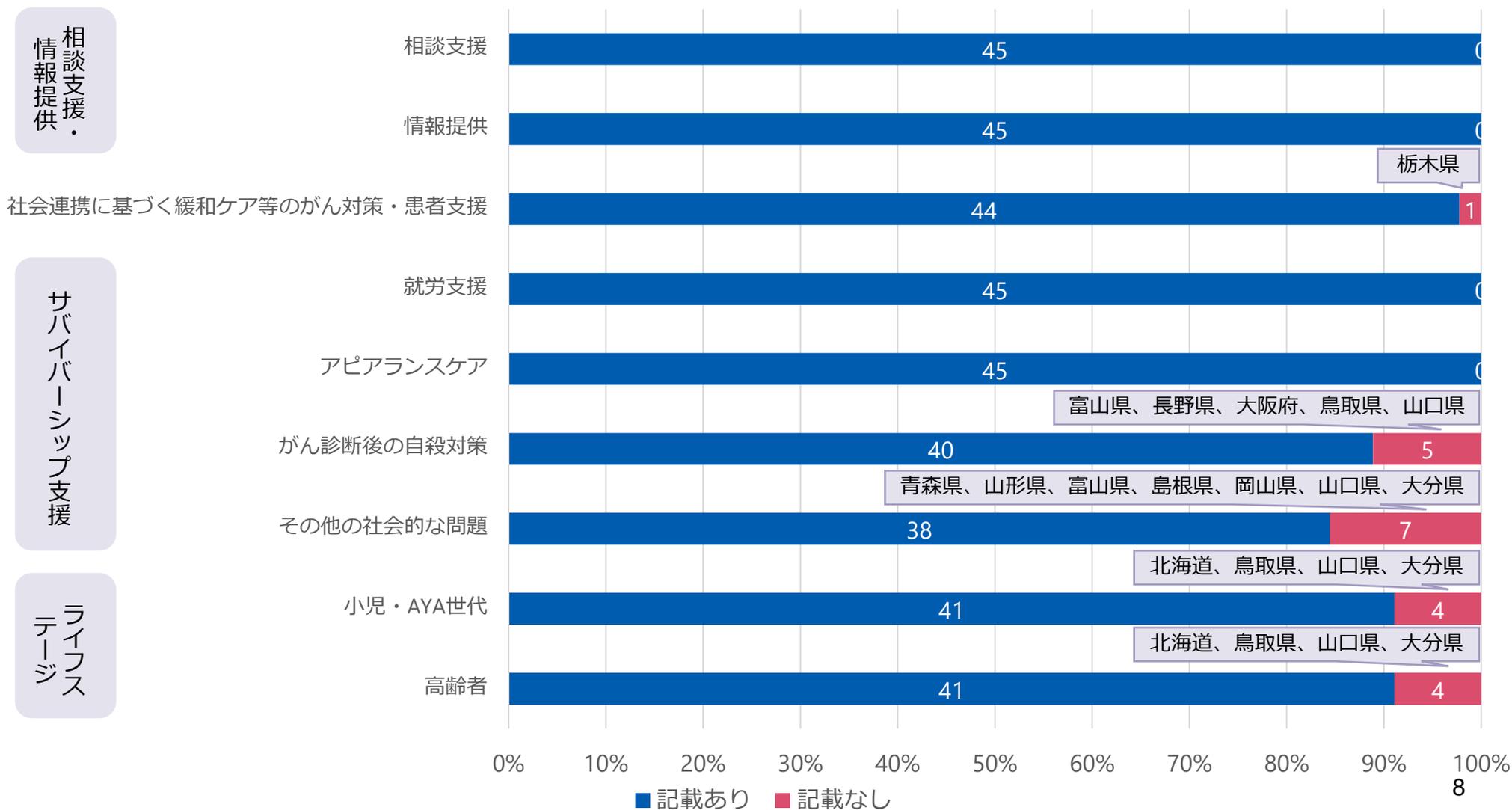
患者本位で持続可能ながん医療の提供②

「新規医薬品、医療機器及び医療技術の速やかな医療実装」について記載している自治体は少ない。



がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

一部の自治体において記載のない項目がある。



相談支援・
情報提供

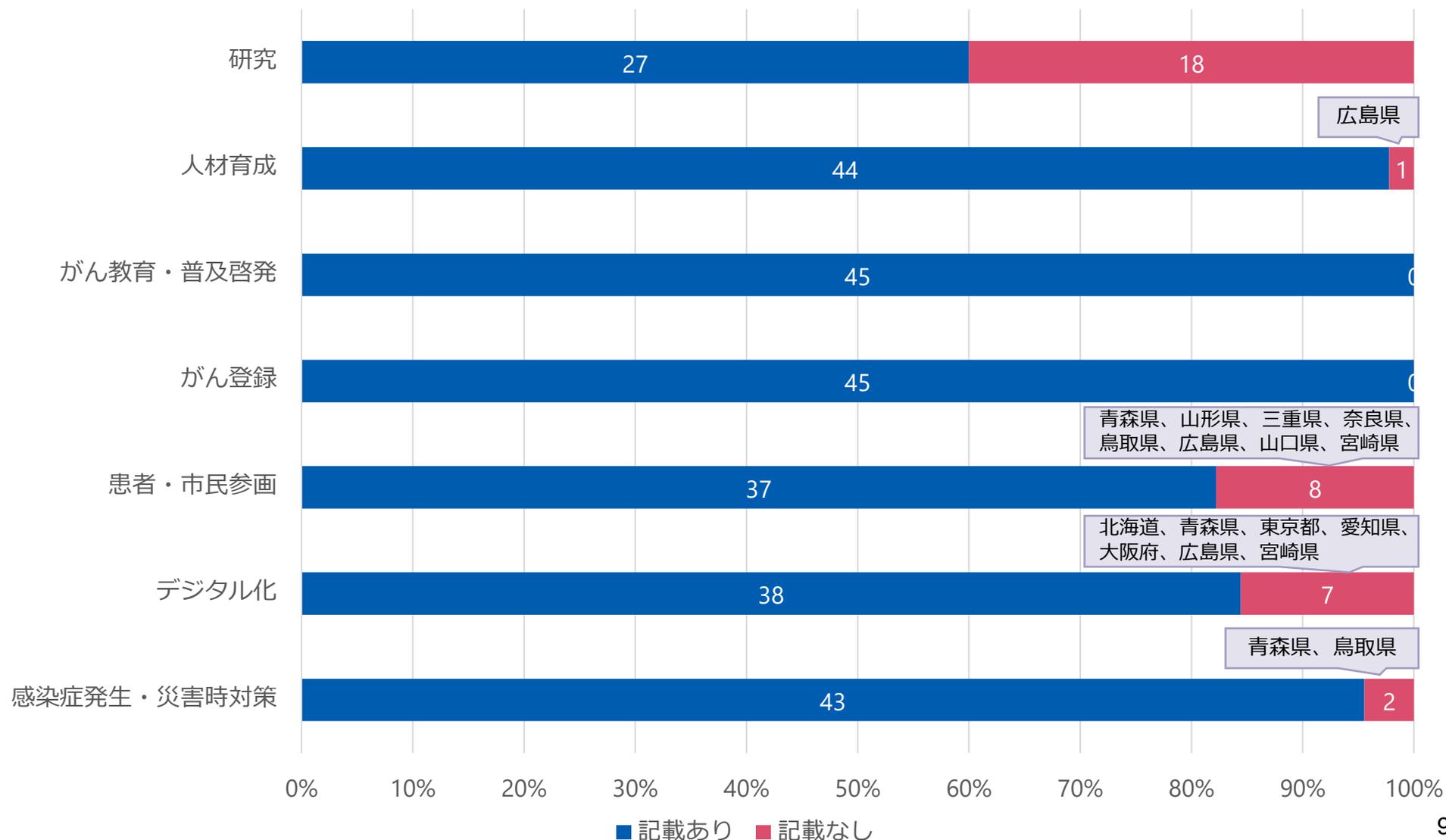
社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援

サバイバーシップ支援

ライフス
テージ

これらを支える基盤の整備 がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

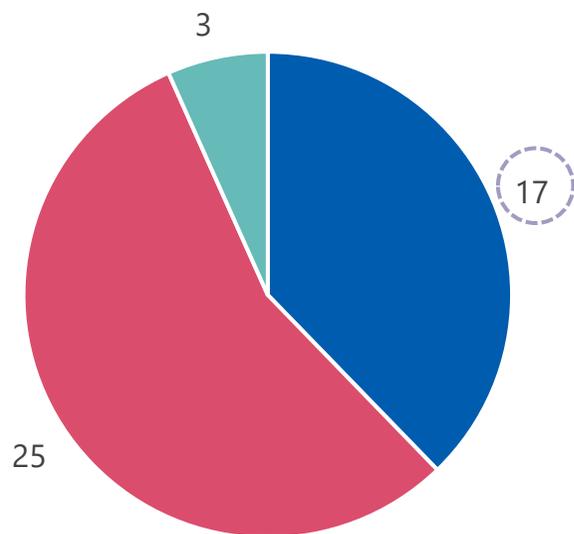
研究に関する記載があるのは半数程度である。一部の自治体で記載の無い項目がある。



その他

一部の自治体において、所管地域のモニタリングを実施予定。

各分野の取組の地域間、医療機関間の差のモニタリング

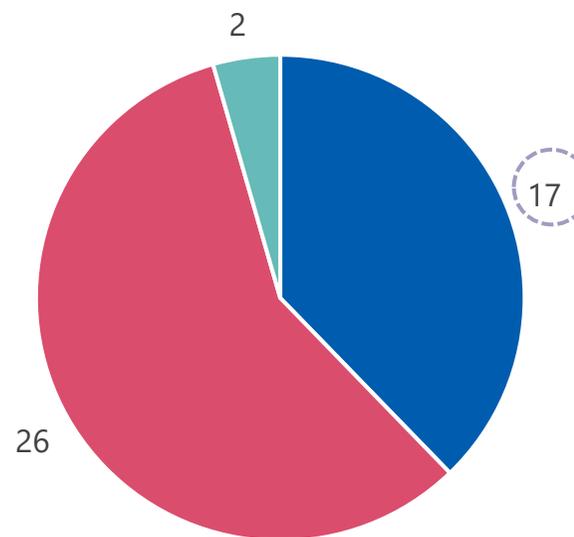


■ 実施予定 ■ 実施予定なし ■ 検討中

実施予定の都道府県

宮城県、秋田県、福島県、茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、岐阜県、静岡県、滋賀県、奈良県、島根県、山口県、愛媛県、高知県、大分県

所管市区町村のがん対策のモニタリング



■ 実施予定 ■ 実施予定なし ■ 検討中

実施予定の都道府県

岩手県、秋田県、福島県、茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、静岡県、滋賀県、奈良県、島根県、山口県、徳島県、大分県

- ロジックモデル・評価指標を用いたモニタリングに加え、引き続き、都道府県におけるがん対策の進捗状況についてモニタリングしていく。

参考資料



(参考) 都道府県において一部項目の記載がない理由等

○ ロジックモデルの活用状況・目標値の設定

都道府県	理由等
ロジックモデルの活用	
北海道	国のロジックモデルでは、多くのアウトカム指標が「患者体験調査」の結果を活用することとしているが、都道府県別の結果については、回答数が少ないことや、調査頻度の問題など、道の計画におけるアウトカム指標として適当かどうか検討が必要と考えているため。
愛知県	国の基本計画同様、計画本文には掲載していないが、計画骨子を定める際の有識者会議の資料において、ロジックモデル（案）を示し検討するなどの方法で活用している。

○ がん予防

都道府県	理由等
科学的根拠に基づく実施	
北海道	科学的な根拠に基づく実施を前提に、全体目標としてその旨記載しているため。
栃木県	科学的根拠に基づくがん検診の実施の促進は国主導であり、県は国の指針をもとに医療機関に周知していく役割であることや、県として主導でできることは限られているため。
大分県	過去の大分県がん対策推進計画の構成上、項立ててはいないが、がんの2次予防の中で、有効性の確認されたがん検診の実施や精度管理についての記載はしている。

(参考) 都道府県において一部項目の記載がない理由等

○ がん医療

都道府県	理由等
がん医療提供体制等 医療提供体制の均てん化・集約化	
山口県	紙幅の関係で記載を省略しているが、拠点病院の役割分担を踏まえた集約化を推進することとしている。
がん医療提供体制等 支持療法の推進	
青森県	リハビリ及び緩和ケアに含めた形で推進している。
栃木県	支持療法を充実させることは、県の取り組むがん施策よりもがん診療連携協議会等や臨床現場の医療従事者を中心として推進していくことが適しているから。
高齢者のがん対策	
山口県	紙幅の関係で記載を省略しているが、高齢者対策にも取り組むこととしている。
新規医薬品、医療機器及び医療技術の速やかな医療実装	
栃木県	新規医薬品等の医療実装は、県の取り組むがん施策よりもがん診療連携協議会等や臨床試験や治験を実施している医療機関を中心として推進していくことが適しているから。

(参考) 都道府県において一部項目の記載がない理由等

○ がんとの共生

都道府県	理由等
社会連系に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援	
栃木県	項目としての記載はないが、内容は緩和ケアやライフステージに応じた療養環境支援において記載が重複する部分があるため省略した。
サバイバーシップ支援 がん診断後の自殺対策	
山口県	紙幅の関係で記載を省略しているが、自殺対策にも取り組むこととしている。
サバイバーシップ支援 その他の社会的な問題	
青森県	「相談支援及び情報提供」欄において、がん患者やその家族への相談支援や情報提供について記載しており、また、民間団体や患者団体等との連携についても、ピアサポーターの活動促進と養成への取組について記載しているため、あらためてこの欄への記載は行っていない。
山口県	紙幅の関係で記載を省略しているが、その他の対策にも取り組むこととしている。
ライフステージに応じた療養環境支援 小児・AYA世代	
北海道	「がん医療」の項目の中で、「共生」に関わる内容も含めて記載しているため。
山口県	紙幅の関係で記載を省略しているが、小児・AYA世代支援にも取り組むこととしている。
ライフステージに応じた療養環境支援 高齢者	
北海道	「がん医療」の項目の中で、「共生」に関わる内容も含めて記載しているため。
山口県	紙幅の関係で記載を省略しているが、高齢者支援にも取り組むこととしている。

(参考) 都道府県において一部項目の記載がない理由等

○ これらを支える基盤の整備

都道府県	理由等
全ゲノム解析等の新たな技術を含む更なるがん研究の推進	
栃木県	研究を充実させることは、県の取り組むがん施策よりもがん診療連携協議会等の臨床現場の医療従事者やヘルスケア分野の民間企業を中心として推進していくことが適しているから。
患者・市民参画	
青森県	従来から、患者・市民等が「がん対策推進協議会」の委員として計画策定や施策推進に参画しており、敢えてこのことを計画に記載していない。
山口県	紙幅の関係で記載を省略しているが、患者・市民参画を前提としている。
デジタル化	
青森県	医療全般におけるデジタル化について「第8次青森県保健医療計画」において記載している。
愛知県	国の基本計画に記載された施策の内容が、都道府県単位ではなく国レベルで取り組むべき施策であると判断したため。

○ がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

都道府県	理由等
感染症発生・災害時対策	
青森県	感染症発生・災害時対策について「第8次青森県保健医療計画」において記載している。

○ その他

都道府県	理由等
モニタリング 各分野の取組の地域間、医療機関間の差	
青森県	全県的な検証（分析）を行っている。
モニタリング 所管市区町村のがん対策	
青森県	全県的な検証（分析）を行っている。